９－１　自動で棚割を作成する

概要

自動棚割機能では、既存の棚割モデル変更時に追加になる商品、棚からカットする商品を指定することで自動で商品の差替えおよび棚割の編集を行います。単純にカットした場所に商品を陳列するのではなく、売上情報やゾーニングを加味して最適と推測される位置に陳列し、あわせて棚割全体の編集を実施します。

事前準備

自動棚割を実施する際は、追加商品と削除商品の一覧ファイル、棚割内の位置やフェイス数を変更するため商品のランク付けが必要です。ランク付けするには店ＰＯＷＥＲに登録された商品分類や売上情報、レジ通過人数を使用します。
登録がない場合、自動棚割用のファイルを作成することで商品のランク付けが可能です。

追加商品・削除商品のファイル仕様
追加、削除共に共通商品コード（JAN コード）を A 列に記載（タイトル不要）した Excel・CSV ファイル
詳細は「仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください。

自動棚割用のファイルを作成する場合は以下をご確認ください。
「「仕様マニュアル内「自動棚割設定」

操作方法

棚割モデルを開いている場合

現在表示している棚割モデルに対して自動棚割を実施します。

1. ［棚割操作］タブ －［自動棚割］－「自動棚割（追加削除）」をクリックします。

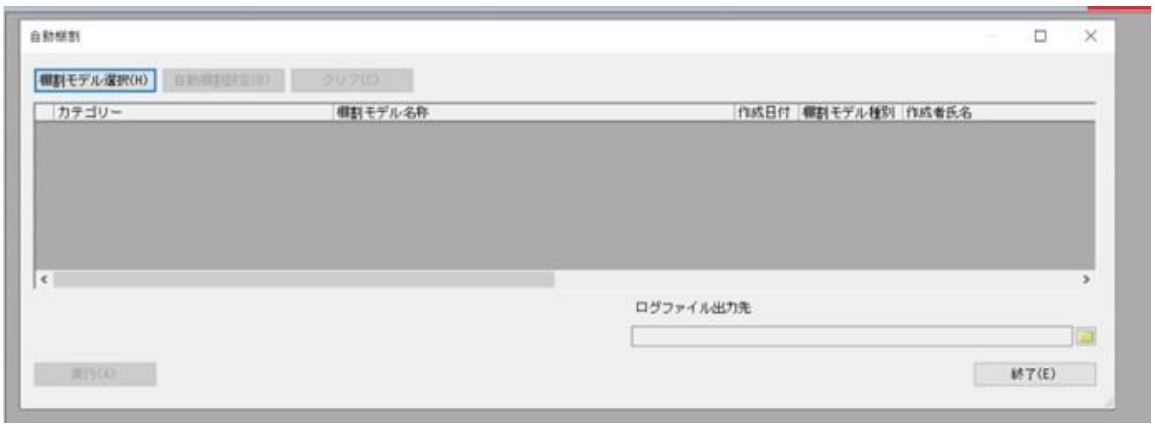
2. 自動棚割設定画面が表示されます。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

棚割モデルを何も開いていない場合

選択した棚割モデルに対して自動棚割を実施します。複数の棚割モデルを選択して、同設定で一括で実施することも可能です。

1. ［棚割操作］タブ －［自動棚割］－「自動棚割（追加削除）」をクリックします。
2. 自動棚割画面が表示されます。



3. ［棚割モデル選択］より、対象となる棚割モデルを選択します。
4. 自動棚割設定画面が表示されます。

特記事項

- 実行後、どのような変更があったかについては「ログファイル」に出力されます。
  棚割モデルを開いている場合は実行後に表示される「自動棚割結果」画面からも確認可能です。
  ※棚割モデルを開かずに実行した場合は、次回表示した際に「自動棚割結果」を表示します。
- 具体的な操作手順、設定方法については「9-2　自動棚割を実施する」をご確認ください。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

９－２　自動棚割を実施する

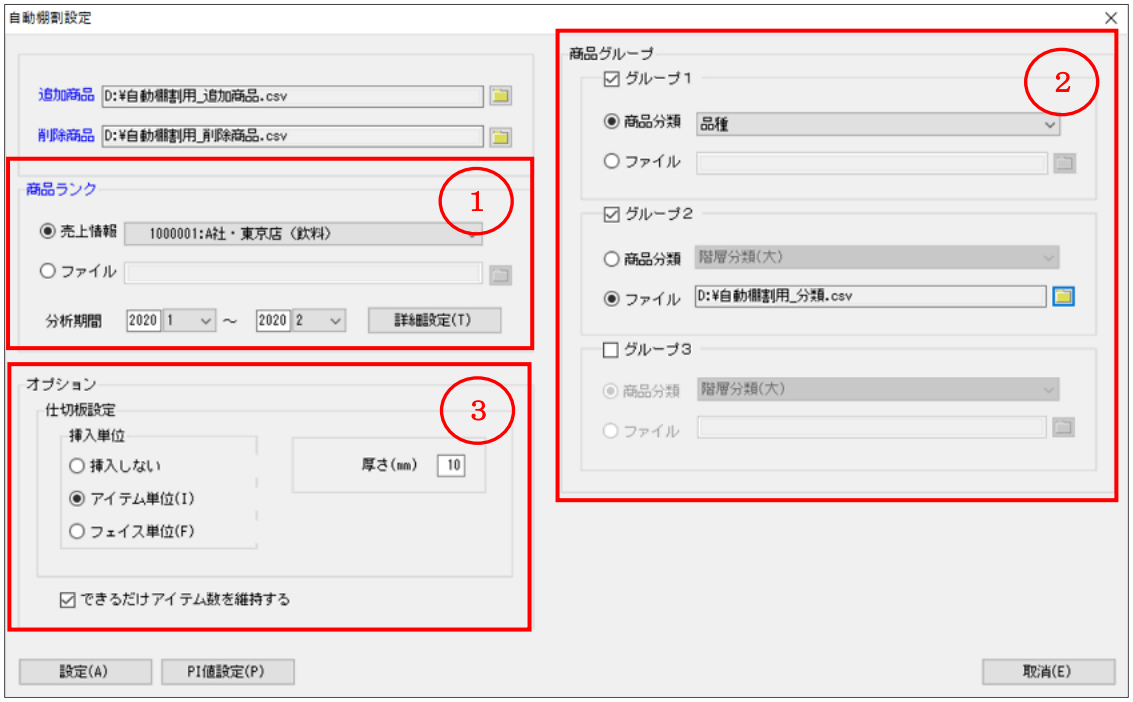
概要

自動棚割機能では、既存棚割モデル変更時に追加になる商品、棚からカットする商品を指定することで自動で商品の差替えおよび棚割の編集を行います。単純にカットした場所に商品を陳列するのではなく、売上情報やゾーニングを加味して最適と推測される位置に陳列し、あわせて棚割全体の編集を実施します。

操作方法

棚割モデルを表示して自動棚割を実行する

1. 自動棚割を実施したい棚割モデルを開きます。
2. ［棚割操作］－［自動棚割］－［自動棚割（追加削除）］をクリックします。自動棚割設定画面が表示されます。
3. ［追加商品］と［削除商品］を指定します。
   右側のフォルダーマークより、それぞれの商品が記載されたファイルを参照します。
   追加、削除共に共通商品コード（JAN コード）を A 列に記載（タイトル不要）した Excel・CSV ファイル
   詳細は仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください。
4. 商品ランクを設定します。売上情報を元にランクを算出します。…（①）



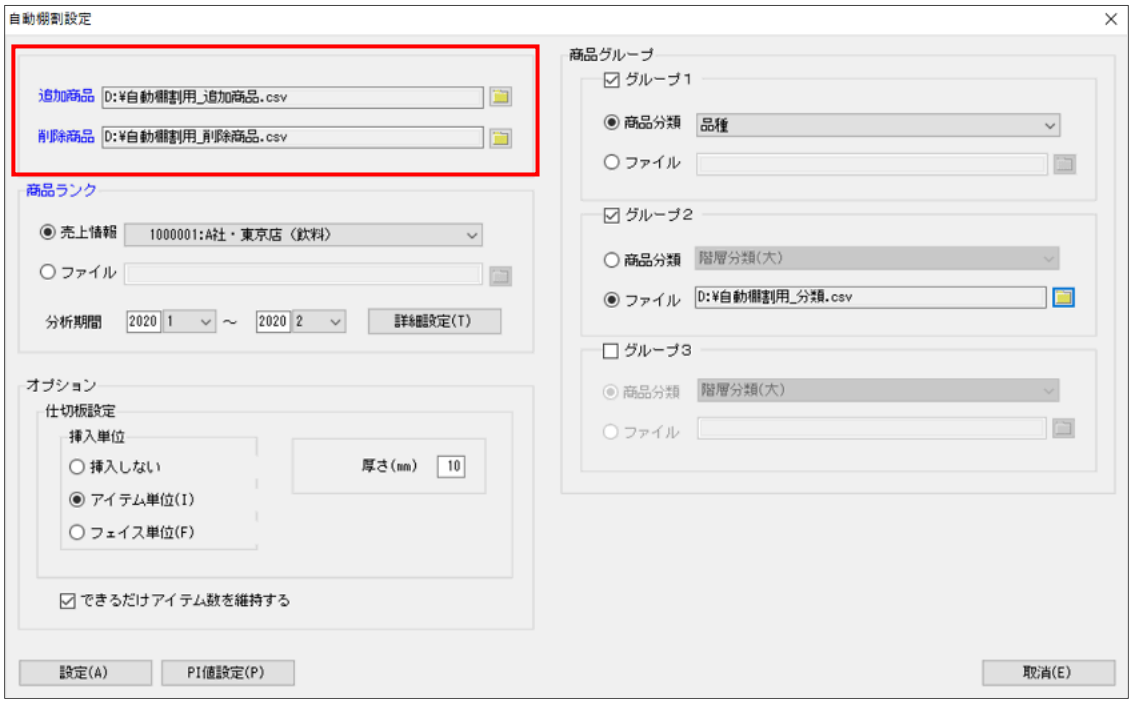
   店ＰＯＷＥＲに登録した売上情報を使用する場合は「売上情報」より該当の売上を選択します
   店ＰＯＷＥＲに登録がない場合、あるいは登録している売上情報とは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します
   ※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください
5. 必要時、商品グループを設定します。（任意）…（②）
   ゾーニングを加味するため、商品がどのグループ（メーカーや品種）に属するかを設定します。
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録があれば「商品分類」より選択します
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録がない場合、あるいは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します
   ※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください
6. その他オプション設定を選択します。…（③）
   仕切板を設定する場合は、「仕切板設定」より挿入の単位や厚さを設定します。可能な限りアイテム数は変えず、フェイス数の調整で棚割編集する場合は「できるだけアイテム数を維持する」を有効にします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

7. 処理内容を記載したログファイルを保存する場所を「ログファイル出力先」のフォルダーマークより選択します。
   ※ログファイルは「自動棚割ログ」名で出力されます。
8. ［設定］をクリックします。
9. 追加商品の PI 値が未設定の場合「売数 PI 値が未設定の追加商品があります、PI 値設定画面を開きますか？」が表示されます。
   はい…PI 値設定画面が表示します
   いいえ…PI 値設定は行なわず、未設定の商品は「0」で処理します
10. 棚割が変更されます。変更の詳細は「自動棚割ログ」を確認します。

複数の棚割モデルを対象に自動棚割を実施する

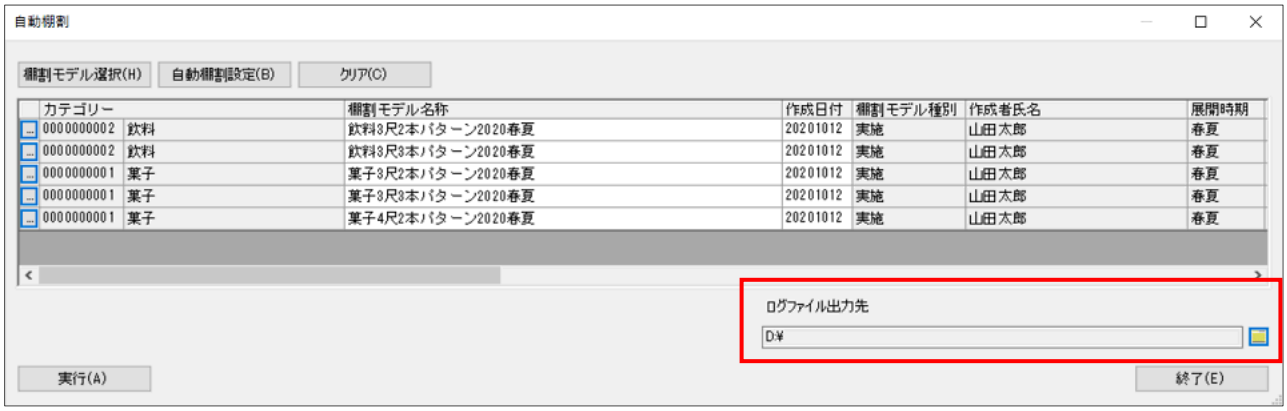
1. ［棚割操作］－［自動棚割］－［自動棚割（追加削除）］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］より、自動棚割を設定したい内部棚割モデルを選択します。
   複数の棚割モデルを選択可能です
3. 自動棚割設定画面が表示されます。［追加商品］と［削除商品］を指定します。
   右側のフォルダーマークより、それぞれの商品が記載されたファイルを参照します。



   追加、削除共に共通商品コード（JAN コード）を A 列に記載（タイトル不要）した Excel・CSV ファイル
   詳細は仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください。
4. 必要時、商品グループを設定します。（任意）
   ゾーニングを加味するため、商品がどのグループ（メーカーや品種）に属するかを設定します。
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録があれば「商品分類」より選択します
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録がない場合、あるいは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します
   ※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください
5. その他オプション設定を選択します。
   仕切板を設定する場合は、「仕切板設定」より挿入の単位や厚さを設定します。
   可能な限りアイテム数は変えず、フェイス数の調整で棚割編集する場合は「できるだけアイテム数を維持する」を有効にします。
6. ［設定］をクリックします。
7. 追加商品の PI 値が未設定の場合「売数 PI 値が未設定の追加商品があります、PI 値設定画面を開きますか？」が表示されます。
   はい…PI 値設定画面が表示します
   いいえ…PI 値設定は行なわず、未設定の商品は「0」で処理します

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

8.　処理内容を記載したログファイルを保存する場所を「ログファイル出力先」のフォルダーマークより選択します。
※ログファイルは「自動棚割ログ」名で出力されます。



9.　［実行］をクリックします。棚割が変更されます。
変更の詳細は「自動棚割ログ」を確認します。

PI 値設定について

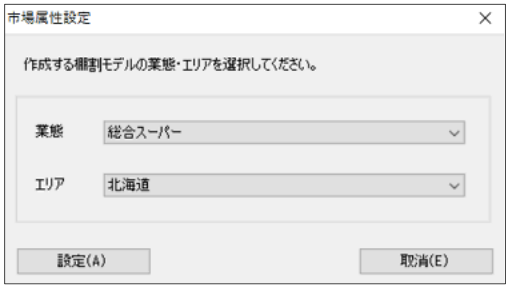
店ＰＯＷＥＲに登録している売上情報にレジ通過人数の登録がない場合は、来店客数「1000」で PI 値（売上数量 PI 値）を自動設定します。追加商品に関しては、[PI 値設定］より仮の PI 値を手動で設定可能です。
「入力」欄の数値をダブルクリックしてキーボードより数値を入力します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

クラウド版 ATW サービス

クラウド版 ATW サービス店ＰＯＷＥＲでは、自動棚割を実施する際に、業態とエリアの選択ができます。
選択した業態・エリアに沿って棚割モデルが作成されます。

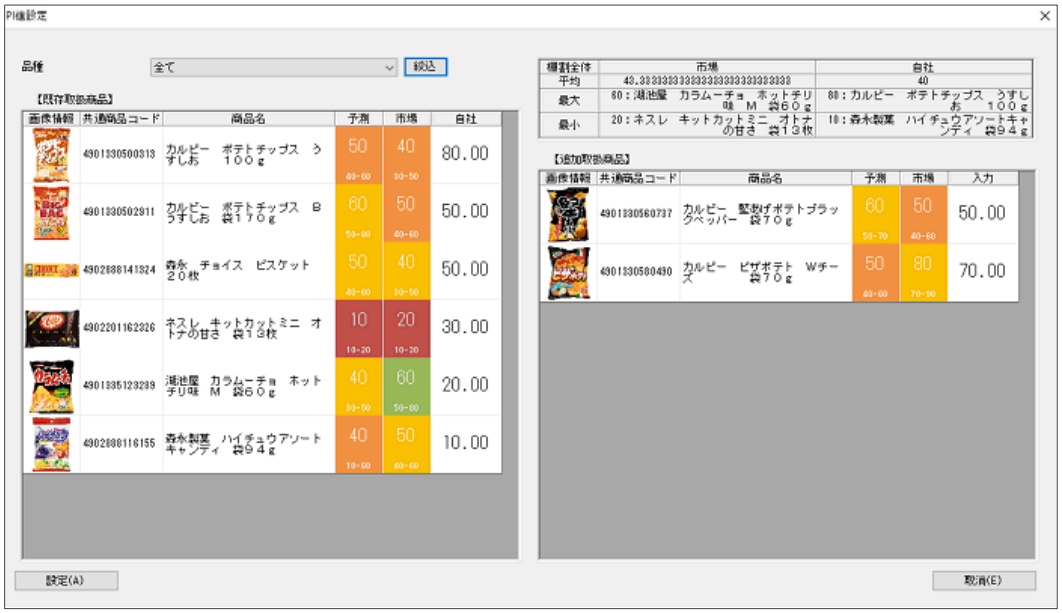
［棚割操作］－［自動棚割］をクリックすると、下記の画面が表示します。



任意の業態やエリアを選択し、「設定」をクリックすると、自動棚割の設定画面に遷移します。

PI 値設定について（クラウド版）

自動棚割クラウド版 ATW サービス店ＯＷＥＲには、PI 値設定に「予測」「市場」が表示されます。
予測…該当の商品に対して ATW 全体で登録された売上データの平均値
市場…市場データの平均値を表示



特記事項

- 売上情報がない場合は自動棚割は実行できません。
  店ＰＯＷＥＲに売上情報を登録するか、読込み用のファイルをご用意ください。
- オプション内「できるだけアイテム数を維持する」を有効にした場合、「商品グループ」の設定内容を元にフェイス数の削減を行ないます。「商品グループ」の設定がない場合は、棚単位でフェイス数を削減します。
  フェイス数減では棚に入りきらない場合は、アイテムを削除します。
- PI 値は、すべて「売上数量」を元にした PI 値です。
- ログファイル出力は必ず行うため「ログファイル出力先」の選択は必須です。

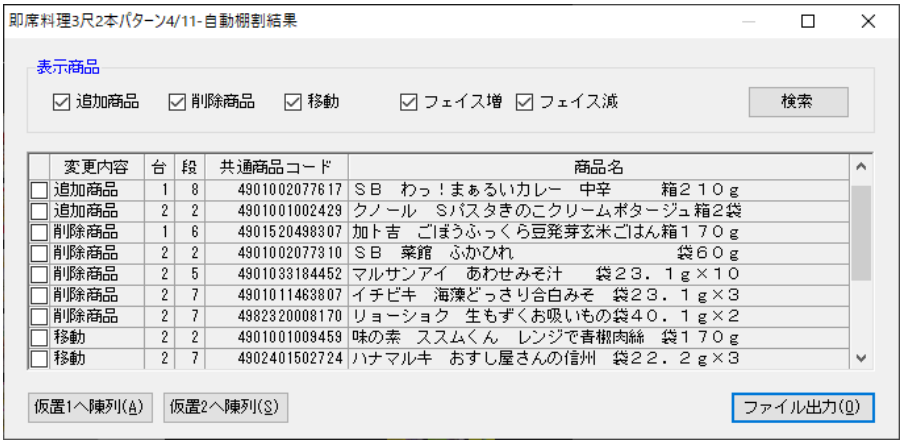
©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

９－３　自動棚割の結果を確認する

概要

棚割モデルを開いて自動棚割を実行した際は、ログファイルとは別に画面上に「自動棚割結果」画面を表示します。
また、棚割モデルを開いていない状態で自動棚割を実行した場合は、次回自動棚割を実行した棚割モデルを、［棚割操作］－［開く］より開いた際に、「自動棚割結果」画面を表示します。

操作方法



棚割モデルを表示して自動棚割を実行した場合

1. 自動棚割実行後に「自動棚割結果」画面が表示されます。
2. 「表示商品」下の「追加商品」「削除商品」「移動」「フェイス増」「フェイス減」のチェックボックスを有効にして［検索］をクリックすると、それぞれの結果を以下一覧に表示します。
   ※初期値はすべて有効です。
3. 「変更内容」左側のチェックボックスを有効にし、仮置情報へ陳列したり、ファイル出力したりすることも可能です。
   ［仮置１へ陳列］…仮置情報（1）に有効にした商品を陳列します
   ［仮置２へ陳列］…仮置情報（2）に有効にした商品を陳列します
   ［ファイル出力］…有効にした商品と変更内容一覧をファイルに出力します

棚割モデルを開かず自動棚割を実行した場合

1. 自動棚割を実行します。
2. ［棚割操作］タブ-［開く］より、自動棚割を実行した棚割モデルを選択し、表示します。
3. 初回表示時「自動棚割結果」画面を表示します。
   ［仮置１へ陳列］…仮置情報（1）に有効にした商品を陳列します
   ［仮置２へ陳列］…仮置情報（2）に有効にした商品を陳列します
   ［ファイル出力］…有効にした商品と変更内容一覧をファイルに出力します

特記事項

- 追加商品のフェイス増の場合、新たにフェイス増として表示しません。
- 移動商品のフェイス増の場合、新たにフェイス増として表示しません。
- 追加商品のフェイス減の場合、その商品は必ず棚からなくなるため、追加商品としてもフェイス減としても表示しません。
- 既存商品のフェイス減でその商品が棚からなくなった場合も、フェイス減として表示します。(削除商品ではありません)
- 「自動棚割結果」画面を閉じると、再度結果は表示できません。ログファイルを確認してください。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

９－４　自動棚割で派生パターンを作成する

概要

自動棚割画面で「基準棚割」や「過去棚割」、「売上情報」などの情報を設定し、設定された情報をもとに店 POWER が自動で派生パターンの作成を行います。陳列条件や什器の条件を判定するために、基準となる棚割パターンの選択と、自動棚割で作成したい派生棚割の過去の棚割パターンの選択など、条件を指定することで指定された条件を元にした棚割パターンを提案します。
毎シーズンごとに大量の棚割パターンの作成をしている場合は、業務の軽減につながります。

操作方法

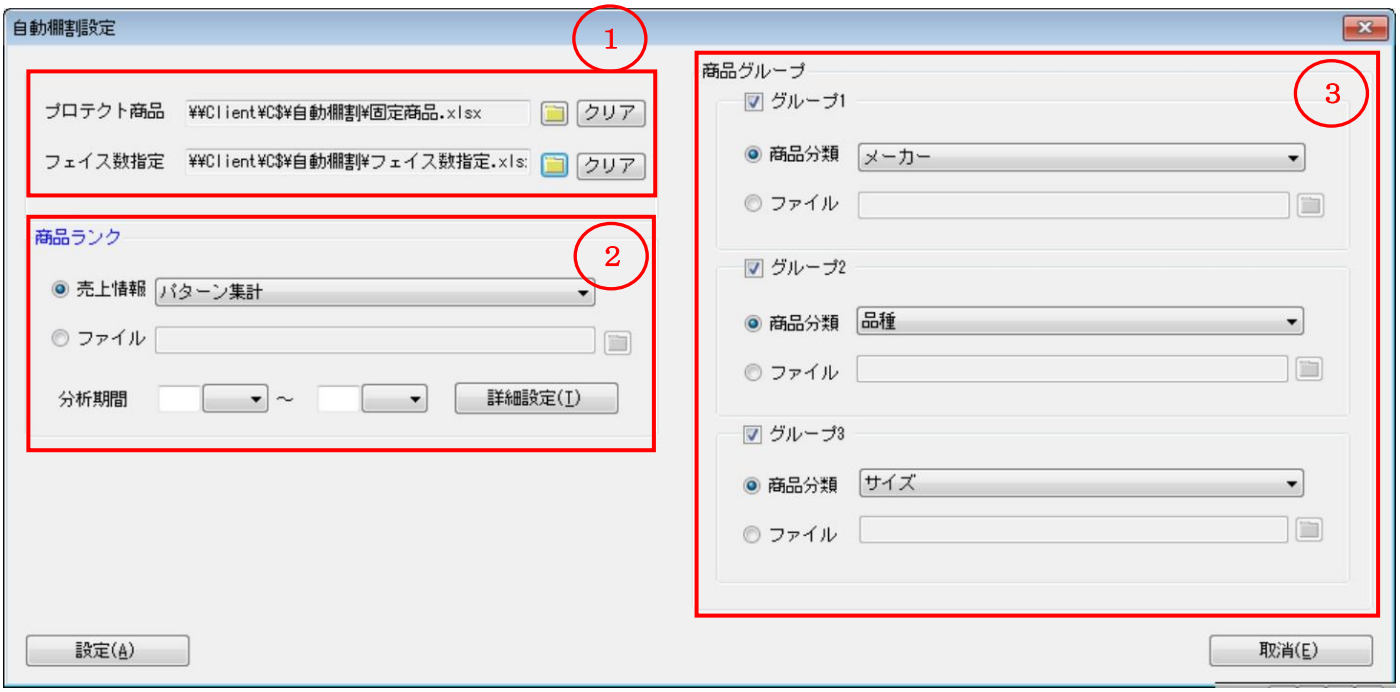
自動棚割を実行し、派生パターンを作成する

1. ［棚割操作］－［自動棚割］－［自動棚割（派生展開）］をクリックします。
2. 出力状況確認画面の下部にある「派生展開予約登録」をクリックします。
3. ［棚割モデル選択］をクリックし、それぞれ新規基準モデルと過去基準モデルを選択します。(①)
4. 過去派生モデルを選択するため、「棚割モデル選択」をクリックします。(②)
   自動棚割設定画面が表示し、商品ランクを指定し「設定」ボタンをクリックします。他項目の設定は任意です。
   ※設定の詳細は下記の「自動棚割画面を設定する」項目をご覧ください。
   派生棚割として作成したい過去のパターンを選択し、「設定」ボタンをクリックします。
5. 発売中止商品をチェックするため、日付を指定します。(③)
6. ［実行］ボタンをクリックします。(④)
7. ［確認］画面が表示します。出力予約処理をするための名称を入力し、[OK］ボタンをクリックします。
8. 出力状況確認画面に処理の予約状況が表示されます。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

自動棚割画面を設定する

1. 過去派生モデルにて「棚割モデル選択」をクリックすると、自動棚割設定画面が表示されます。
2. 派生モデルを作成するにあたり、プロテクト商品とフェイス数指定商品を指定します。（任意）…①
   右側のフォルダーマークより、それぞれの商品が記載されたファイルを参照します。
   プロテクト商品は共通商品コード（JAN コード）を A 列に記載（タイトル不要）した Excel・CSV ファイルをご用意ください。、
   フェイス数指定は共通商品コード（JAN コード）を A 列に、フェイス数を B 列に記載（タイトル不要）した Excel・CSV ファイルをご用意ください。
   詳細は仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください。
3. 商品ランクを設定します。売上情報を元にランクを算出します。（必須）…（②）
   店ＰＯＷＥＲに登録した売上情報を使用する場合は「売上情報」より該当の売上を選択します
   店ＰＯＷＥＲに登録がない場合、あるいは登録している売上情報とは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します
   ※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください
4. 必要時は商品グループを設定します。（任意）…（③）
   ゾーニングを加味するため、商品がどのグループ（メーカーや品種）に属するかを設定します。
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録があれば「商品分類」より選択します
   店ＰＯＷＥＲに商品分類の登録がない場合、あるいは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します
   ※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「自動棚割設定」をご確認ください。
5. ［設定］をクリックします。



特記事項

- 設定画面に入力した発売中止日より以前の商品が含まれていたり、終売商品が含まれている場合は「実行」ボタンを押した際に「新規基準パターンに発売中止商品が陳列されています。続行しますか？」のメッセージが表示します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.